

インフルエンザの定点当たり報告数

全国にはインフルエンザ患者数を報告する医療機関が 5,000 カ所、長崎県では 70 カ所存在します。定点当たり報告数とは、このうち 1 つの医療機関が 1 週間で何名のインフルエンザ患者を診療したか、を表す数字です。従って定点当たり報告数が 3 ならば、1 つの医療機関で 1 週間に 3 名のインフルエンザ患者を診療した、ということです。

この数字が 1 以上ならその地域は流行域に入ったことになり、10 以上なら注意報、30 以上なら警報となります。

第 49 週とは平成 23 年 12 月 5 日から 11 日の週を指します。この頃は特に九州ではまだ流行域に入っていません。

第 3 週（平成 24 年 1 月 16 日～22 日）の最新情報では長崎県の定点当たり的人数は 14.21 と急増しています。長崎地区でも 22.47 と注意報レベルの 10 を大きく上回っています。最大は福井県の 59.88 でした。

全国の年齢別罹患患者をみると、5～9 歳約 31 万人（27.9%）、10～14 歳約 20 万人（18.0%）、0～4 歳約 17 万人（15.3%）、30 代約 10 万人（9.0%）、60 歳以上約 9 万人（8.1%）、20 代、40 代がそれぞれ約 7 万人（6.3%）の順となっています。特に 60 歳以上の報告割合は昨シーズンの同時期（4.0%）と比較して高くなっています。

インフルエンザの型、亜型は長崎県でも他県と同様、A/H3N2 亜型（いわゆる香港型）が大半を占め、B 型が少数、というところです。

週	49	50	51	52	1	2	3
長崎地区	0.12	0.24	1.18	2.29	2.41	8.24	22.47
長崎県	0.03	0.1	0.33	0.94	1.15	5.15	14.21
東京都	0.25	0.45	0.7	0.82	0.95	3.22	14.7
福岡県	0.21	0.39	0.66	1.48	2.42	5.13	16.02
全国平均	1.11	1.98	3.34	3.75	3.76	7.33	22.73
最大	10.33	18.2	25.57	17.62	17.6	23.82	59.88
	宮城県	宮城県	宮城県	愛知県	岐阜県	岐阜県	福井県